

# 久留里西往還

大坂 謙志郎

2017年 6月27日 電子版 第一版

2019年12月20日 電子版 第二版

# も く じ

はじめに	3 ~ 4
ルートマップ	5 ~ 10
久留里旧西往還	11 ~ 25
久留里新西往還	26 ~ 34
久留里西往還・表	35 ~ 48
久留里西往還・裏＋中往還	49 ~ 61
久留里往還沿道物語	62 ~ 104
椎津のカラダミ	
庚申塚・庚申塔	
市原郡史	
勾当用水	
延命寺	
今日の久留里城	
上総久留里城	
久留里城誌	
久留里地方の経済状態	
奥上総の交通運輸	
久留里街道	
養老川	
養老川雑記 遠山あき	
参考・プロフィール・編集後記	105 ~ 107

# はじめに

本編は、市原市姉ヶ崎及び椎津から、袖ヶ浦市經由木更津市の久留里城に向かう古道を捜す目的で始めた調査結果を記録したものである。

事の発端は2015年中頃から始まる。

最近ようやく朝の散歩で道端の地域の方達と挨拶を交わすようにもなり、色んな話も聞けるようになってきた。

朝の散歩で、鎌倉古道を歩いていると「須軽田坂」近くで乳牛を飼っている84歳になる田中さんに出会うことがある。

以前「跡継ぎも居ないので自分の代で牛飼いを辞める」と言っていたが、今も元気で本来の仕事を続けているが、孫娘が後を継いでくれることになったと喜んでいた。

田中さんから、「久留里西往還」は途中から、表と裏二つに別れると教えられた。

## 1、「久留里西往還・表」

久留里西往還の「表」とは、姉崎 1811-1「薬のマツモトキヨシ」傍からの久留里旧西往還と、椎津の瑞安寺前からの久留里新西往還が合流した後で、桜台三丁目から近い緑町の遠矢さん宅の前の三叉路を右（南）に進む道である。

ここから坂道を下り天羽田を通り、袖ヶ浦市上泉の「出光先進技術研究所」を抜け、県道143号線を横切る。

その先には「大元神社」がある。神社を過ぎると登り坂になり、やがて現在の久留里街道と合流する。

久留里街道を100m程久留里方向に進んだ所を左折し、袖ヶ浦市野里にある「平岡小学校」にぶつかる。元々の久留里往還は山際の、小学校の建物や校庭を通っていた。

更に昔は製缶工場があったが、現在「瑞光会特別養護老人ホーム」になっている所を通り現在の久留里街道を横切る形で高谷堰に向かう。

高谷堰から進むと、やがて久留里中往還と一緒にになる。

## 2、「久留里西往還・裏」

桜台近三丁目から近い遠矢さん宅の前の三叉路を左（東）に進む道である。

ここから約1.8km進むと、旧鎌倉みちと直交する。

交差点側には細山集会場があり、直進すると広大な畑地の中に入る。

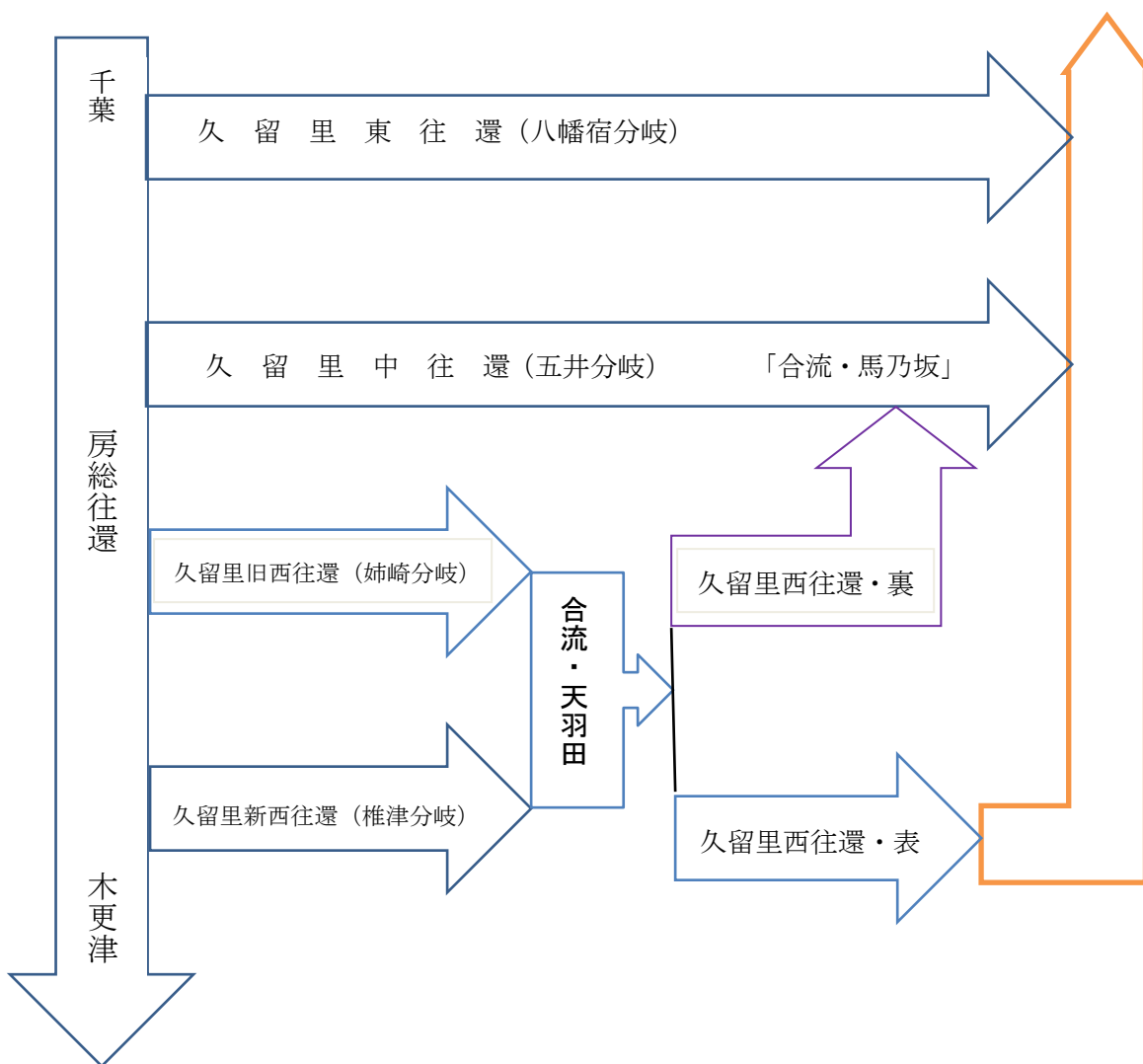
進行右側には、広大な埋め立て地が広がっている。バブル時代にはここにゴルフ場の建設計画があったようだが、話は消えたようだ。

やがて、600m進むと、県道300号線を横切り、六万坪と名付けられた開墾地に入る。さらに600m程進むと「久留里中往還」と三角に交差する。

### 3、「久留里中往還」

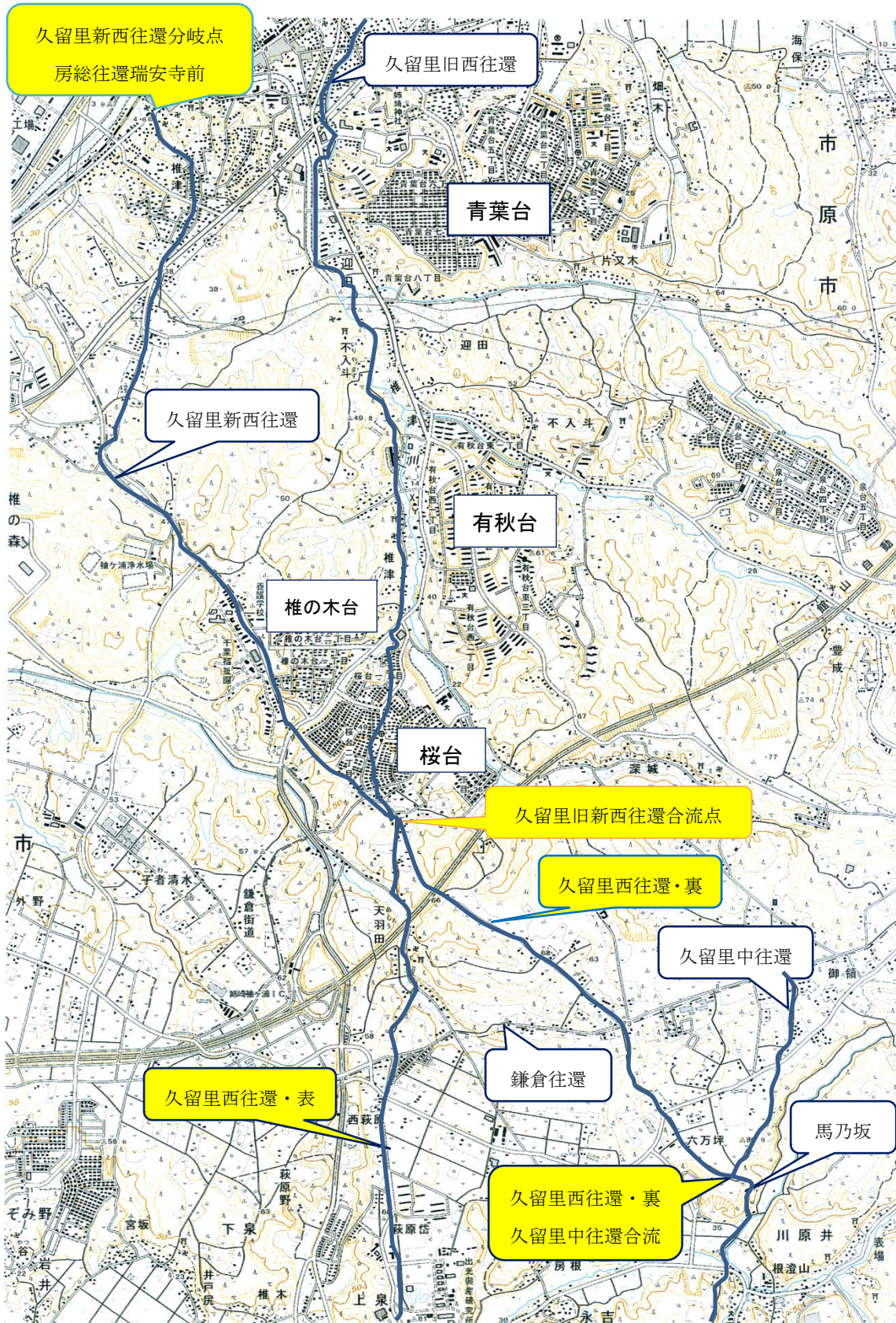
三叉路から「馬乃坂」を約300m下ると、川原井の水田地帯に入る。  
県道143号線を横切り、登坂に入りやがて右手に「寺原台不動尊」が見えてくる。  
ここから先は台地の上になるので、高谷への下りになるまで平坦な道になる。  
現在は右手に「東京ドイツ村」が見えている。  
花立台には民家があるが、農業に関わる関係の会社であるようだ。  
花立台から丘を下ると、高谷台の民家の間を通り抜ける。

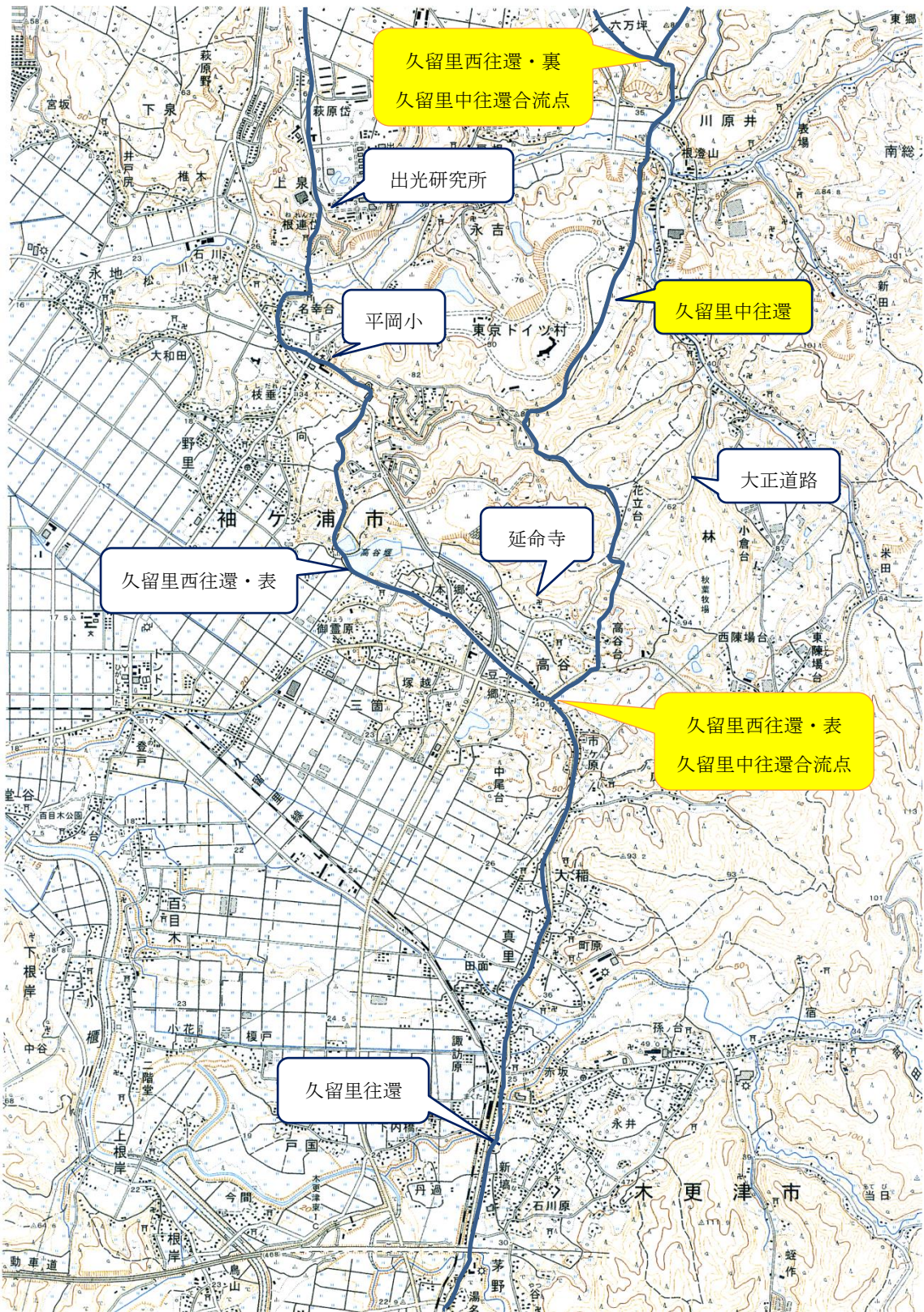
いよいよ久留里往還も、すべての道を通ってきたものが、一緒になる。  
色々思惑があり、出来た道であると思う。  
近世では、殿様の通る道であったろうし、大昔から地域の方達が生活道路として利用してきたし、商売人（商人）も、自分たちの利用し易い道を結果的に造ってきたのだらう。

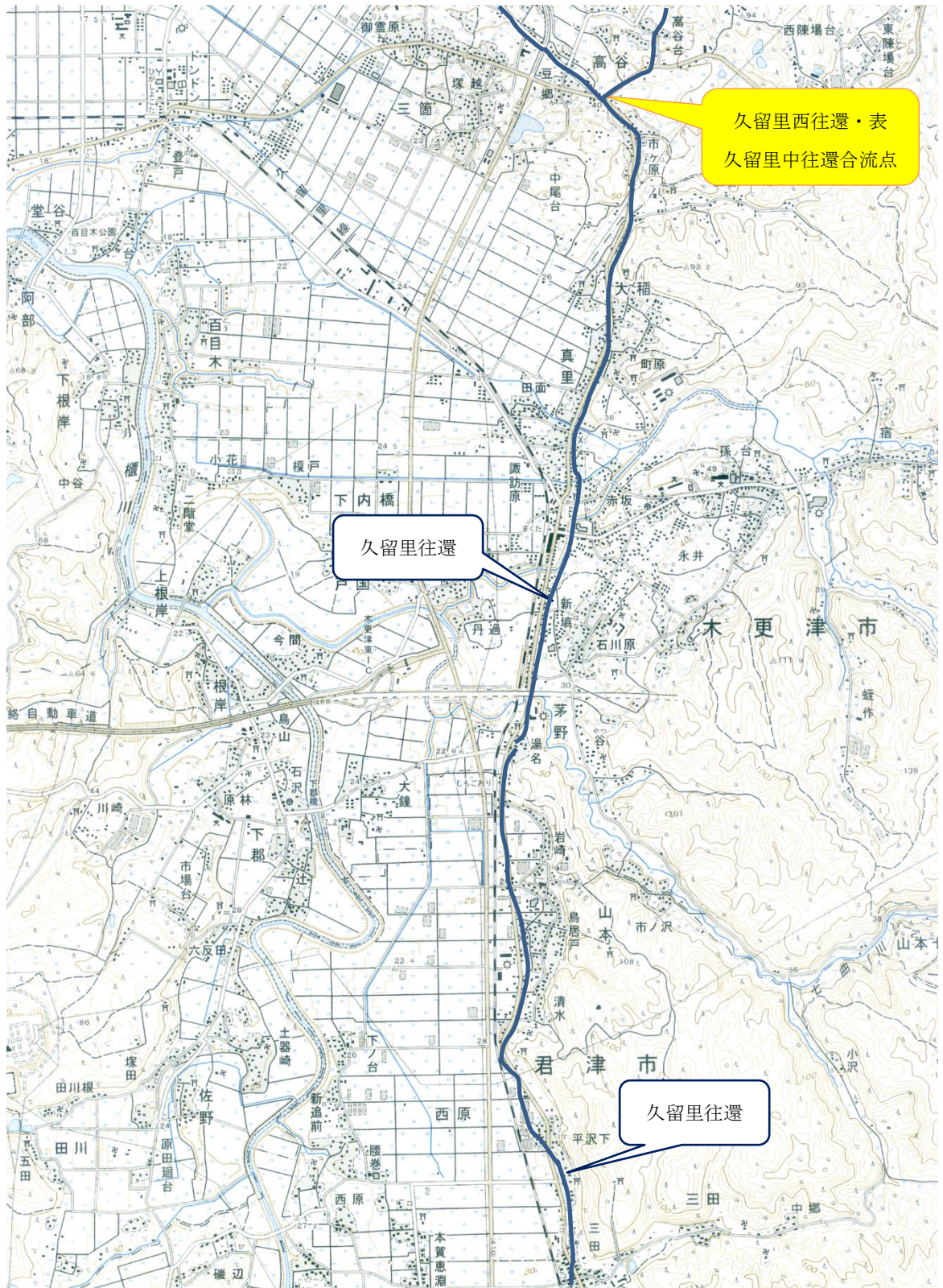


ルートマップ

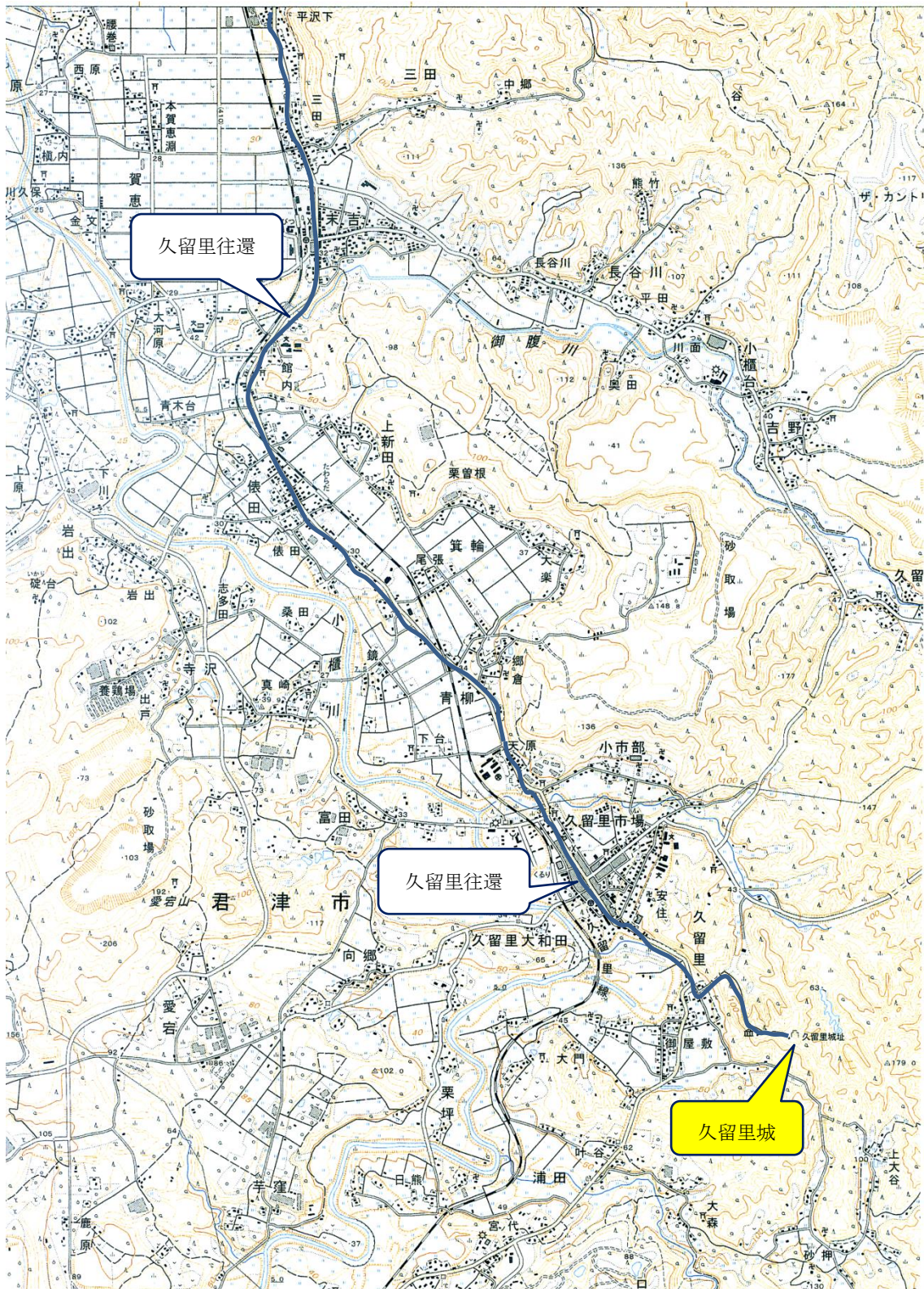




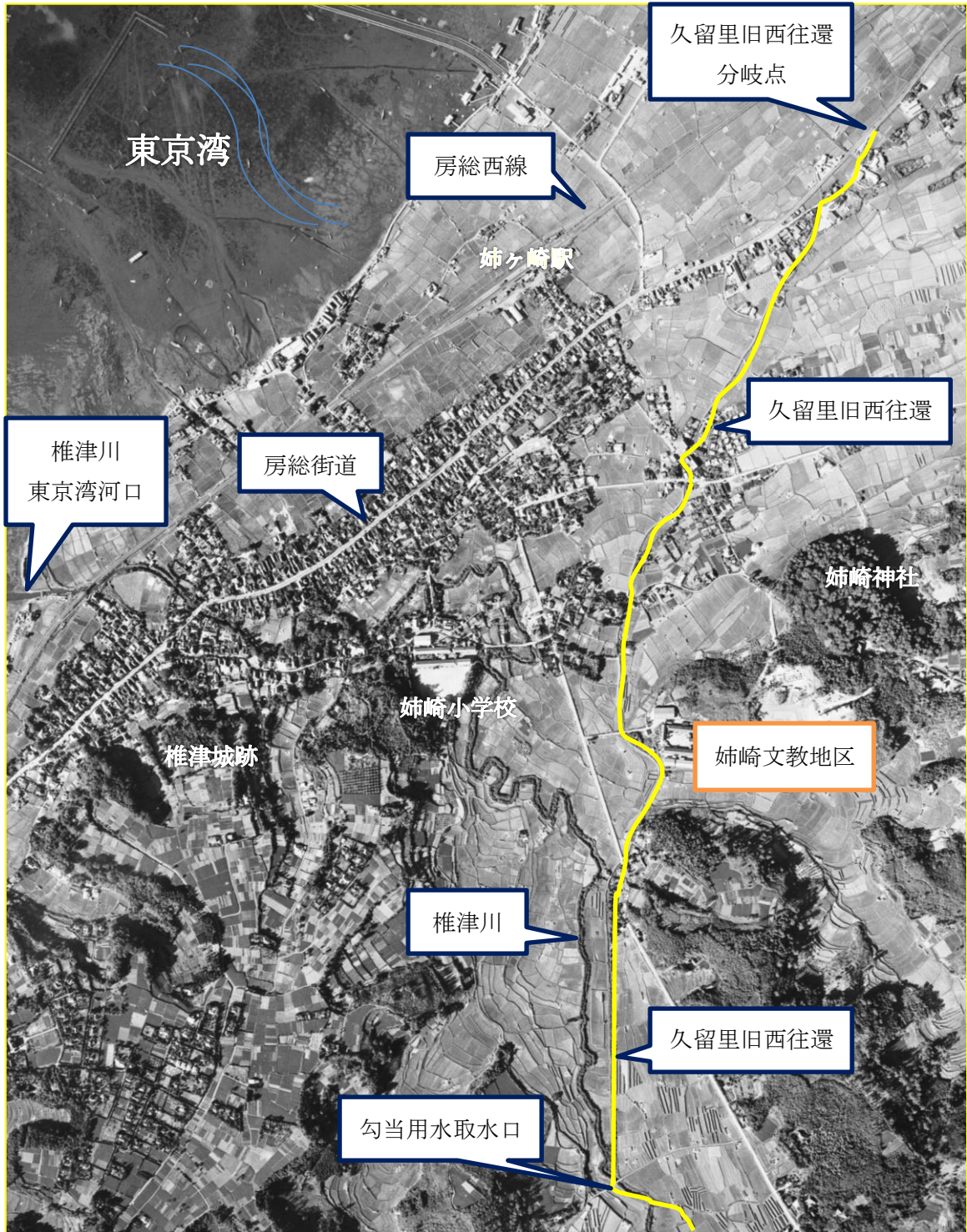








# 昭和36年当時の「久留里旧西往還」 路線図



1961年9月28日撮影 国土地理院航空写真